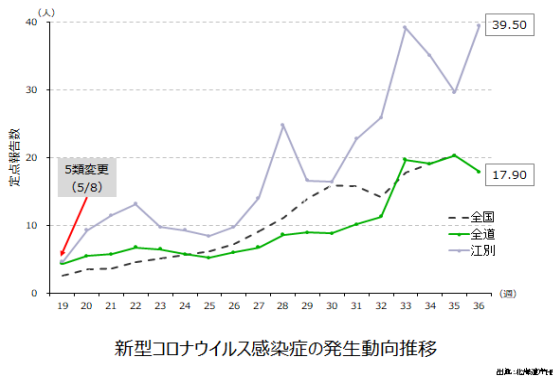


## 【第 34 回】

全国的に新型コロナウイルス感染状況がおちつきません。全道的にみると江別市がよくありません。感染すると病院に行きますよね。でも 10 月からはこれまでとは異なる状況となります。この点について説明いたします。

まずは直近の感染状況から。8 月号に続いて第二弾です。下のグラフが現状です。



江別市の感染者は群をぬいております。一端、下がったかと期待をよせましたが第 36 週(9/4～10)はまた増えました。全道平均の約 2.2 倍です。理由は不明ですが、まだまだ感染予防を緩めることができない現状です。これから大学の夏季休暇が終わり学生の活動が活発化します。皆さんの感染予防に対するご協力が必要です。

次に感染して病院を受診した場合です。10 月からは変わります。詳細は厚生労働省が 15 日に発表した「10 月以降の新型コロナウイルスの医療負担について」を参照ください。

・これまでただだったコロナ治療薬は有料となる

窓口負担額によって上限値が設定されその金額までは払う場合が出てくる。具体的には窓口負担が 1 割の人は 3 千円、2 割は 6 千円、3 割は 9 千円までは患者が負担する。

・入院医療費の自己負担金がふえる

高額療養費制度の適用したうえで、これまでは自己負担分について国は最大 2 万円補助しているが、10 月以降は 1 万円に減らす。したがって患者の持ち出しが多くなる。

・かかる病院が見つかりづらくなる

国は診療報酬上の特例や病床確保料といった医療機関への支援を行ってきましたが 10 月からは縮小します。この理由により 10 月以降コロナ診療を取りやめる病院が出てくる。大学が始まっても感染しないことを祈念しております。(文責: 佐藤 浩樹)